

完全禁煙・加熱式専用エリアの喫煙対策 全社で課題解決に取り組みお客様のニーズに応える

『スモーククリア』

フェイスグループが喫煙環境改善のために設置した『スモーククリア』。グループ14店舗に導入した。



フェイスグループ（福岡市）は、「メガフェイス」などの屋号で九州を中心に、関東、関西にもパチンコホールを展開。昨年、創業40周年を迎えた九州有数のパチンコホール企業だ。

同社は昨年より、喫煙率の高いパチンコユーザーに快適な遊技環境を提供することで、喫煙ユーザーからの支持率アップを目指している。23年11月、全国に展開する

グループ店14店舗に『スモーククリア』を導入。グループ全店の喫煙環境を強化するため一斉導入に踏み切った。

11月8日、リニューアルオープンと同時に『スモーククリア』を導入した『フェイス950高須』は、総設置台数944台（パチンコ406台、パチスロ538台）の郊外店。「海物語」シリーズや「ジャグラー」シリーズを中心に、地域の常連が足を運ぶエリアNo.1稼働を誇る店舗だ。

加熱式専用エリア内に導入した理由について山田店長は「全社として喫煙環境の改善を目指し、『スモーククリア』を導入しました。弊社では以前からエルゴジャパン製品を使用しており、実績と信頼があったため『スモーククリア』を選んでいます。これから寒くなる時期だったため、紙巻きたばこユーザーも店内で吸いやすい環境を整えたいと考えていました。いまはお客様全員に快適に遊技していただけています」と語る。

同店は屋外のスペースとカウンター前や風除室に喫煙所を設置していたが、『スモーククリア』は中央通路に設置。

「設置後は気温が下がるにつれて『スモーククリア』の使用状況も高まってきました。遊技中に島中から使用状況も確認できるので吸いたいタイミングで離席できますし、中央通路に設置したことで、移動距離が短くなったのでお客様のストレス軽減にもつながっています。近年、紙巻き・加熱式どちらも吸う二刀流の方が増えましたが、『スモーククリア』の使用状況を見ると紙巻きたばこユーザーの方もまだ多いです。どちらにも寄り添った店舗を目指すことで、新規のお客様や常連様を獲得できると思います」

同店の喫煙率は紙巻き・加熱式たばこ合わせて5割弱。加熱式たばこユーザーだけでなく、紙巻きたばこユーザーも過ごしやすい喫煙環境を提供することで共存を目指す。

「全社で課題を解決し、喫煙環境を強化することで、お客様からの信頼を得ることにつながると思っています。これからもお客様のニーズに応えられるような店舗を目指して、日々の営業に取り組んでいきます」



中央通路に設置すれば使用状況も確認できるため、お客様のストレスの軽減につながる。